

学校運営協議会を開催しました!

今年度から開始した取組である学校運営協議会を11月14日(火)に本校視聴覚室で開催しました。

6月に行った第一回協議会では、学校経営方針を説明し承認していただくと共に、今年度実施する予定の取組を説明させていただきました。第二回である今回は、4月からこれまでどのような取組をしてきたのかという中間報告をさせていただくと共に、授業参観をしていただきました。

内容については次の通りです。



VRA
(強光刺激箱)

1 教育活動の紹介(スライド)

【センター的機能と教育相談、乳幼児相談の様子、
幼小中学部の教育活動】

教育活動の報告では、10月末までの相談業務の実績と乳幼児相談の聴力測定して138件あり、年度末までには300件程度の相談件数が予想されていること。乳幼児相談室では、0才~3歳児未満のお子さんの育児やコミュニケーション手段(手話等)の情報提供や療育支援を行っていること。スライドで幼稚部、小学部、中学部の教育活動の様子を見ていただき、学習発表会の動画(5分程度)を視聴していただきました。



幼稚部の学級活動や自立活動



幼稚部の学習発表会



小学部の稲刈体験

2 学校いじめ防止基本方針の改定と取組説明

いじめの防止は未然防止、早期発見が大切です。マニュアルを整備し、実効性があるかどうかを高めていきたいと考えております。本校の取組内容は、ホームページ(以下HP)に掲載しておりますので、お気付きの点があればお知らせください。また、いじめ発生件数もHPに掲載しています。

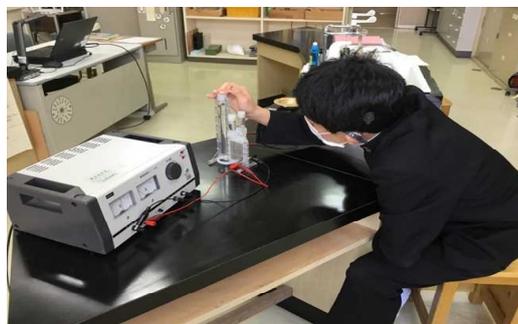
3 「函館聾学校ボランティアバンク」の取組の進捗

ボランティアバンクについてはHPに掲載し、深堀町会様の会報と一緒に回覧していただきました。さらに、駒場町会様や東深堀町会様にもお願いしました。大学や社会福祉協議会にもお願いし、HPに掲載していただき、現在6名の方がボランティアバンクに登録して講習を終えました。旧職員1名、未来大1名、教

育大3名、同窓生1名が参加してくれています。本校の卒業生も、自分の母校の力になりたいと言って申し込んでくれました。その他、高校生1名が時間帯が合わず講習に至っていないという状況です。広報活動はすごく大切だと考えているので再度力を入れて取り組んで行きたいと考えています。



小学部の学習発表会「劇・合奏・歌」



中学部の教科学習「理科」

さて、次回は2月に開催し、学校評価を基にした今年度の取組に対する総括をして御意見をいただく予定です。

委員の皆様、本校に関心を寄せていただいている地域の皆様、いつも御理解と御協力をありがとうございます。何かお気づきの点がありましたら、お気軽に本校までお問い合わせください。常に今できる最善のことをしていきたいと考えております。



中学部の学習発表会「意見発表」

※今回、委員の皆様から建設的な御意見や好意的な御感想を沢山いただきました。私たち教職員にとって明日からの力になります。ありがとうございました。

【学校運営協議会委員名簿】

- (1) 運営協議会委員（氏名の50音順に記載）
 北海道中小企業家同友会函館支部
 函館商工会議所企画情報課長
 函館市地域包括支援センターゆのかわ係長
 函館聴覚障がい者協会手話対策部長
 深堀町会会長
 北海道函館聾学校同窓会長
 北海道函館聾学校PTA会長
 北海道教育大学函館校教授
 NPO法人NPOサポートはこだて事務局長
 北海道函館聾学校長
- (2) 事務局
 北海道函館聾学校教頭
 北海道函館聾学校事務長
 北海道函館聾学校教諭
 北海道函館聾学校教諭

青木達人様
 鏡 典子様
 京谷佳子様
 田中祥平様
 谷山静香様
 仲尾芳則様
 西村菜月様
 細谷一博様
 丸藤 競様
 門真義弘

橋谷利崇
 佐々木謙爾
 新出雅彦
 小野史人

【いただいた御感想】

- 先ほどビデオで見させていただいた学習発表会は本当に良かったと思った。幼稚園部、小学部、中学部とどんどん成長している様子が見られる。中学部の皆さんの発表は本当に私も勉強になった。たくさん調べて子どもたちも頑張っているが、先生たちも一生懸命であることがすごく分かり嬉しい1日になった。前から聾学校のファンであるがますますファン度が強くなってきた。先ほどお話したように、自分自身が来年度は是非ボランティアバンクに協力していきたい。
- 今、聾学校の小学部の先生が大学院で私の研究室に所属をしていて日々研究をしている。従来、聾教育であまりいなかった重複障がいのお子さん、知的障がいをあわせもつお子さんが年々増えてくることが予想される。大学としても研究機関としてできることをしていきたい。
- 学習発表会を見て、子どもたちの成長を感じた。学校の様子は、前向きで進歩が早いなと思った。素晴らしいと思う。もちろん前から素晴らしいと思っていましたが（改めて思った）。
- 来る度に子どもたちが成長しているのを見るととても嬉しい。先日、学習発表会を同じ地域の高齢者の方と一緒に見に来ている。幼稚園部の子どもが次の子どものセリフを言うまで待ってあげる様子を見て、こころを育てる教育を見ることができた。一緒に出ていた先生も汗をかきながら取り組んでいた。そういう様子が見られることはすごく嬉しい。これまでの3年間コロナ禍で閉ざされていたが、今ここにいる子どもたちを見るとしっかりと育てていて、いろいろな機器を駆使して、逆にどんどん成長している様子をHPからも見ることができた。
- 聾学校に通って子どもの成長を感じることができた。学校の環境の良さや先生たちに良くしていただいていることを保護者として声を大にして言いたい。
- 毎回参加させてもらおうと新しい発見があって素晴らしいと思った。いじめ防止については、起こってしまったときのマニュアルがあって良い。専門家が入ったチームで進めていきたいと思います。聾教育や聾学校に対して正しい知識をもって接する必要がある。私はソーシャルワーカーだが、ソーシャルワーカーも聾教育や聾学校のことを知って対応できる人が必要である。そういう人材を作っていかなければいけないということを改めて思い、校長先生が提唱されている学校のボランティアを広めていくことは、正しい方向性なのだと私は思う。
- 学習発表会などいろいろ見させていただき、いろいろな機材、AIなどを使っており、今DX化と言われているが進んでいるのが分かった。学習発表会で中学部がプレゼンを行っていたが素晴らしいと思った。